

草加市倫理法人会(2月) モーニングセミナー報告

自分が変わる。
会社が良くなる。
不況に負けない。

二月六日(木) 第八三七回

- ◆ 講師 東納 英一 (一社)倫理研究所 法人スーパバイザー
(株)東納本店 代表取締役
- ◆ テーマ 「答えはすべて、あなたの中に」



広沢 威 記

目が覚めた時の心構えが大切です。自分が生まれて明日は何回目の目覚めか考えてみて下さい。震災でたくさんの方が亡くなられましたが誰が予想できなかったでしょうか。親の存在を意識して自分の生き様を強くするため、心の鏡を磨きましよう。自分の鏡が曇ると謙虚に学ぶ事はできません。いくら調子がいい時でも明日は何が起こるか分らない世の中です。常に心の鏡を磨いていないと苦難を乗り越えられません。苦難は自分に対して起きるのです。全てを受け入れられる事(受容)が大事です。どんなトラブルが起きてても自分の中に答えがあります。逃げないで素直に詫びれば答えは見つかります。

二月十三日(木) 第八三八回

- ◆ 講師 五味 りか 埼玉県倫理法人会 広報委員長
- ◆ テーマ 「広報は気づきの宝庫」



吉岡 明夫 記

平成十九年七月にさいたま中央倫理法人会に入会しました。昨年九月に埼玉県倫理法人会広報委員長を拝命しました。「常に周りの人たちのためにお役にたたせていただき自分を高めていきたい」と考えておりましたのでお役をお受けしました。また、埼玉県倫理法人会設立三十周年にあたり、記念誌作成を手掛けることが出来ましたことにも感謝しております。記念誌が出来上がるまで何をしたいのかさえわかりませんでしたが多くの方のお力を借りて完成することができました。最初はお付き合ひ程度に入会した倫理法人会でしたが、こんなに勉強になる会はありませんでした。支えてくださった皆様本当に感謝しております。

二月二十日(木) 第八三九回

- ◆ 講師 田島 勝義 新座・志木倫理法人会 専任幹事
- ◆ テーマ 「熱き思い」



相川 哲也 記

子供の頃から野球少年でした。高校は自分の希望で埼玉県から野球の名門である沖縄の「私立興南高校」に入学し野球漬けの高校時代を過ごしました。その後、国士館大学に進学し、家業の木材店を継ぐため経済学部を選択し学びました。卒業と同時に家業の田島木材に入社しました。父親が社長の木材会社は経営難の中、立て直しに頑張りましたが、力及ばず、平成二十二年破産し、倒産してしまいました。厳しい借金の取り立てなど辛い時期に倫理法人会と出会い、入会。個人事業「ウッドモク」を起ち上げ、木の良さに着目した数々の商品開発で「東九瀬宮文化褒賞」を平成二十三年、二十五年の二度受賞するまでになりました。倫理の「苦難福門」と野球部で培った精神でこれからも頑張ります。

二月二十七日(木) 第八四十回

- ◆ 講師 棚橋 正光 東京都倫理法人会 普及拡大委員長
- ◆ テーマ 「二宮尊徳に学ぶ倫理実践」



白井 義臣 記

北海道はオホーツク紋別市の酪農家に生まれ十八歳で東京。大学を卒業後「オンワード樫山」に就職、定年退職まで勤めあげた実直な人柄です。二宮尊徳を尊敬し、その生い立ちの話をされました。農家での苦労話の中で「万人幸福の葉」十一條にある「たらいの水」の話から、少年期に薪を集めてお金を生み出し、のちに日本初の銀行を設立、ヨーロッパに先立ち、世界で最初に銀行を作った人であると教えていただきました。二宮尊徳の生き方、全てを尊敬し、熱弁で語られるエネルギーは日本の中心、東京都の普及拡大委員長であると感動しました。

